

附属機関等の会議結果の公開 様式

会議名	令和5年度第1回愛荘町立図書館協議会 会議結果(概要)
開催日時	令和5年(2023年)5月31日(水) 19時30分～21時15分
開催場所	愛知川図書館
出席者	西澤基治会長、安孫子雅城副会長、大辻登代子委員、小川寿晴委員、辰巳和美委員、辻野ミト子委員、野村仁美委員、西村知子委員、平野宏文委員
事務局	教育長 徳田寿、図書館長 三浦寛二、図書館参事 小川亜希子、図書館課長補佐 小豆畑靖、図書館司書 梅本都子、水谷英紀
傍聴者	2人
議 題	<p>(1) 前年度図書館利用状況、行事实施状況、今年度行事予定について</p> <p>(2) 愛荘町まちじゅう読書の計画(愛荘町図書館サービス計画・愛荘町子ども読書活動推進計画)の更新について</p> <p>(3) その他</p>
審議内容	<p>(教育長挨拶)</p> <p>(出席職員の紹介)</p> <p>(事務局)</p> <p>それでは、会長に議事進行をお願いします。</p> <p>(会長)</p> <p>それでは議案1、令和4年度の図書館利用状況と行事实施状況、令和5年度の行事予定について事務局よりお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>昨年度の活動について両館まとめて要覧に基づいて報告いたします。個人貸出冊数については両館ともに、コロナウイルス感染症の影響で令和2年度が最も減少し、徐々に回復している状況です。数字をみると愛知川図書館に比べ秦荘図書館は影響が少なくなっています。個人貸出人数についても令和2年度が最も落ち込み、以降、回復傾向にあります。</p> <p>予約リクエスト件数について、昨年度、図書館システムの更新を行い、インターネットからの予約が容易になりました。それにより、多くの方が利用して下さるようになり予約件数が増えています。カウンターで対応している際も以前はインターネット予約をされていなかった利用者も利用されており、貸出状況も確認していただいているような印象です。</p> <p>今年度の行事について、おはなし会はコロナ流行以前と同様に開催するようになり、学校等へ出向いても行っています。このほか、映画会や古文書をよむ会も再開しています。他に、6月25日(日)には農山漁村文化協会から講師を招き「野菜づくり講習会 in 愛知川図書館」を開催する予定です。普段図書館に来られない方をターゲットにしており、図書館に来ていただいて、野菜作りに役立つ資料があることを紹介できればと考えてい</p>

ます。お声がけいただけるとありがたいです。

(会長)

今の報告について質問等があればどうぞ。

(事務局)

今年度の行事予定として、コロナ流行以前に開催していた行事は再開しています。ボランティア団体の活動についても再開しています。

(委員)

ボランティア団体「ほんてつ」の行事紹介です。7月23日(日)に対面式ビブリオバトルを3年ぶりに開催する予定です。(詳細はチラシを基に説明)一般的なビブリオバトルに比べて敷居は低く設定しています。まずはビブリオバトルを体験してもらいたいのので、オーディエンスとして参加して欲しいです。紹介したい本があればバトラーでの参加もお願いします。大人の方も楽しめ、面白いのでぜひご参加ください。

(事務局)

「ほんてつ」さんは図書館で開催されますが、町立図書館としては今年度、初の試みとして愛知中学校でビブリオバトルを開催する予定をしています。夏休み前に中学校に出向き、図書館の職員がバトラーとなって行う予定です。

(会長)

それでは議案2、愛荘町まちじゅう読書の計画(愛荘町図書館サービス計画・愛荘町子ども読書活動推進計画)の更新について事務局よりお願いします。

(事務局)

前回まで検討していただいた計画について、今回は詳しく内容を確認していただき、その上でパブリックコメント等を進めていきたいと考えています。

計画の期間は令和6年から令和10年までの5年間とし、次回の図書館協議会で内容を決定し、教育委員会に提出する予定です。

本日決めていただきたいのは、計画の総合テーマです。候補4案から選んでいただくか、別の案があればご提案いただいて、決定したいです。

(会長)

これまでのところで質問等あればどうぞ。

(委員)

朝の読み聞かせに行かせていただいています。そのときに、愛知川小学校の学校図書館の様子を見ていると図書指導員さんがてきぱきと対応されており、朝からたくさんの児童が利用していることに感動した経験があります。

(委員)

他校でも朝の読み聞かせに行くと、本を抱えて教室に入ってくる子を見かけ、利用されていることがよくわかります。

資料の訂正について資料 12 ページのボランティア活動について、「どうぞの本棚」は「あそぶっくクラブ」の行事ですので訂正してください。

(委員)

資料 11 ページのボランティアとの連携について記載のあるところにも追記をお願いします。「ほんてつ」は子どもに限らず、地域の人たちで図書館を盛り上げる団体です。むしろ、子どもを対象としているのは「あそぶっくクラブ」のほうです。

(事務局)

ご指摘いただいたところにつきまして、訂正させていただきます。

(会長)

他に何かありましたらどうぞ。

(委員)

町内新聞折込チラシの電子化とは具体的に何をしているのでしょうか。

(事務局)

新聞折込チラシのうち愛荘町内にある店舗の売り出し広告や新店舗のチラシについて紙媒体でも保存していますが、電子化することで簡単に検索できるように整備しています。利用については著作権の制限があるため、館内限定公開としています。いつ店舗できたかなど地域の情報が残るので地域資料として非常に大切なものだと考えています。

(会長)

最近新聞をとる方も減ってきているので、このような取り組みはありがたいです。

(委員)

字の広報について、図書館には掲示されていませんが自治会内で残して

いる字もあります。自治会で個人情報として漏れてしまい、不特定多数に見られるのは控えてほしいという意見があり、表立って出していません。

(事務局)

字で広報は出しているものの、図書館での掲示はしないで欲しいという自治会もあることは承知しています。

(事務局)

字の広報については各字で話し合われて公開はしないとされているところや、逆に広く見てもらいたいという自治会があります。希望される自治会のみ図書館で掲示しています。

(事務局)

広報の発行は字の活動ですので、それぞれの意向を尊重しています。現在の地域の情報を集めることは図書館の役割の一つだと考えていますので、何かお気づきのことがあれば図書館に教えていただきたいです。

(委員)

毎年ホタルマップを掲示されていますが、今年もされていますか。

(事務局)

今年も掲示しています。ホタルマップは図書館利用者が資料を作るというユニークな取り組みです。

(委員)

要覧の表紙に人口の記載があり、全体としては減少していますが、12歳以下の人口を見ると増加しています。これが数年間の推移であれば、それも計画に盛り込まれてはどうか。

(事務局)

昨年度は減少しています。愛荘町は珍しく人口が微増する町ではあるのですが、数字の傾向は掴めないところがあります。

(教育長)

全体としては微増ではなく、近年は減少傾向のように思います。人口推計を見ると特に愛知川地域の減少スピードが速いように感じます。愛知川小学校のピーク時は児童数500人を上回っていましたが、あと数年で400人を切りそうです。中学校は今現在の生徒数で最大に近い数ですが、小学校とタイムラグがあるため、今後減少に転じると思われます。

(委員)

それは単なる少子化なのか、子育て世代が流出しているのかどちらでしょうか。

(教育長)

単なる少子化だと思います。宅地開発も落ち着いてきていますし、出生数が減ってきています。子育て世帯向けの施策についても様々に取り組んでおり、他市町と比べて条件が悪いと思えません。

(事務局)

愛荘町の図書館は、町の中でも魅力ある施設の一つだと思います。他市町と比較して、図書館が良いので引っ越してきたという話を聞いたこともあります。図書館が町を選んでいただけの魅力ある施設であり続けるために、人口推計等も盛り込んで資料を修正させていただきます。

(教育長)

第3次計画の目玉としてどんなことをするか、アイデアを提案いただくとありがたいです。読書から付加価値をたくさん広げ、図書館利用に繋がったりや本を手にとってもらえたりする機会につながれば良いと考えています。

(委員)

ビブリオバトルは紹介された本からオーディエンスがチャンプ本を選びますが、参加した人しか魅力を感じられないように思います。せっかくゲーム性があるので、期間を決めて図書館で何冊か本を選び、それらを図書館内で読んでもらうようにして（禁帯出）、据え置き式のビブリオバトルのようなものをしてはどうでしょうか。ビブリオバトルへの参加はどうしても敷居が高いと思う人がいるようです。ゲーム性がありつつ気軽に楽しめるイベントがよいのではないのでしょうか。「読書でガチャコン」は数をこなしたいという欲が出てきて、たくさん利用されたと思います。自然と本に触れる機会が増えると良いと思います。

(委員)

秦荘西小学校に「ほんてつ版ビブリオバトル」のポスター掲示のお願いに伺った際、図書指導員さんに参加してみたかったと言っていました。自分でやってみて、学校図書館でもやってみたいとおっしゃっていました。教員や図書指導員さんが体験できる機会を設けたり、いろんなところで開催したりしてもらえると広がると思います。

(事務局)

ビブリオバトルは簡素化したとしても、初めてやることには力がいらいます。その種まきは図書館ですればと考えています。気軽に本に親しめるイベントを考える際、図書館に勤めていると良いアイデアが浮かばないこともあります、ぜひアイデアをいただければありがたいです。

(委員)

資料の訂正をお願いします。14 ページの学校図書館について記載に高等学校とあるが、高等養護学校が抜けています。敷地は同じですが、独立した学校なので追記してください。学校図書館は共用しているので1館です。

(事務局)

高等養護学校も記載するように訂正させていただきます。

(事務局)

計画(案)について、続きの説明をさせていただきます。

(会長)

今の説明について、何か質問等あればどうぞ。

(委員)

学校図書館の蔵書が少なく古いように思います。図書館から学校に貸出をしてもらっているのは承知していますが、学校図書館の蔵書の刷新は考えておられますか。中学校については有志で集めて、寄付しようかという話が出ています。

(事務局)

町立図書館が関わる以前は教員が選書していました。そのため授業で使う資料のようなものが多く、また古い内容の資料も多かったです。町立図書館が入るようになり、絵本や読み物を増やしています。ただ、どうしても町立図書館の規模を学校に求めることはできないので、町立図書館から資料をサポートするという体制をとっています。選書についても、現在は町立図書館の司書が学校図書館に置く資料を選定しています。「この本も所蔵してないのか」と感じられることはあると思いますが、読みたい本がなくてもすぐに届けられる体制にはしていますのでご理解いただきたいです。連携については各校の図書指導員と町立図書館の担当とが毎日打ち合わせしており、学校図書館に本がなくても、翌日にはおおよその資料を届けられるようにしています。

(教育長)

本日、教員全員参加の研修会がありましたが、その講演で「読みたい時に読みたい本があって、そこから子どもの読む気持ちが膨らんでいく」ということを話されていました。町立図書館のようにすぐにアップデートはできませんが、早い時期に読書習慣をつける上で蔵書を増やすのも方法だと思いますので検討いたします。

(委員)

役場の住民課窓口前でたくさんの方が順番待ちをされている光景を目にしますし、その間に子供が泣いていることもあります。「まちじゅう読書」とあるので、役場内のソファや座席の横や町内の病院や喫茶店に絵本や雑誌、リサイクル本等を並べてもらうことはできないのでしょうか。

(事務局)

役場内に本を設置可能かについては確認します。病院に限らずこういうところに本があればいいというところがあれば、図書館から相談にいきますので紹介していただければと思います。

(委員)

コロナの流行も落ち着いてきたので、サロンでゆっくり過ごしてもらう時間を設けています。本があれば話のきっかけにもなります。高齢者のサロン等で本を借りることはできるのでしょうか。

(事務局)

団体で登録していただければ、5週間借りていただけます。本を活用していただけるだけでありがたいので、是非利用いただければと思います。

(会長)

中学校には指導員が置けないとのことですが、小学校から繋がっていくので、中学校にも図書指導員を置いていただけないでしょうか。

(教育長)

小学校の次は中学校と考えましたが、中学校の時期は物理的にも読書時間が減る時期です。確かに中学校で読書の量や時間をキープすることはその先の人生に読書がどう位置づくか、習慣付けという意味では大事ですが、中学校までにしっかり習慣づけてその延長でその後も続いてくれればというところで保留になっています。

(会長)

他に何かありましたらどうぞ。

(委員)

資料全体に町民が受け身になっているような表現が多い気がします。資料中に「町民が何か活動をしたい時に支える、バックアップする」という言葉がありますが、上から下へという表現より、全体として読書推進のサイクルのようになる表現にすると良いのではと思います。「本や新聞をきっかけにして会話が生まれる」という文章もありますが、それが読書推進の一番の目標だと思うので、それをもっと強調してもいいのではないのでしょうか。

(事務局)

ご指摘の箇所について、図にできればと思います。

(委員)

ボランティアでも図書館に関わっていて、「あれをやってみたい」ということに対して支援をしてくれる図書館はなかなかないと思っています。一方で、図書館で開催される講座等に参加することはあっても、町民から声を出してもいいということを知らない方も多いと思います。町民から声を上げる機運が高まって、その時に図書館がバックアップする姿勢をみせてもらえれば良いのではないのでしょうか。やりたい気持ちを育てて受け入れてくれるような文言があれば良いです。

(教育長)

これからの行政はおっしゃられたようでなくてはなりません。生涯学習についてもおっしゃる通りです。町民の活動が町の活性化につながると思っています。良い意見をありがとうございます。

(委員)

「まちじゅう読書の宣言」は素晴らしいものだと思います。一方で、小さな自治体だからこそこできることだとも思います。住民側からのボトムアップで動いていくことが大切です。そこで、各家庭で不要になった本をどうしているか、活かすことはできないかと考えます。図書館の資料を町内の事業者に渡すのは汚損等もあるので難しいと思いますが、各家庭で眠っている本を他の読んでくれる住民に分配できれば面白いのではないのでしょうか。本好きが集まる町ということでイベント的なものができると思います。幼い頃に読書習慣をつけること、中学校期には部活等で物理的に読書の時間が無くなるのはわかります。子どもが減少する中で幼少期に読書を習慣づけて、その子が成長して子育てするときにもまた戻ってくる、子ども読書活動は将来の大人の読書でもあるという意識で取り組むこ

とが大切だと思います。そこで、町のいろんなところに本があるというのは意味のあることのように思います。しかし、その全てを図書館、司書さんにお任せするのではなくボランティア等でお手伝いできれば良いですし、その拠点は図書館であれば良いのではと思います。それがうまく回れば、それこそ「まちじゅう読書」になるのではないのでしょうか。

(事務局)

まちづくりにつながる視点のご意見ありがとうございます。

(会長)

さて、最初にお願ひされました、計画の総合テーマ決めさせてもらいたいと思います。ご意見のある方はどうぞ。

(委員)

候補1が分かりやすく、スッキリしていて未来への展望があるように思います。また、読書好きに限らず、様々な人に受け入れていただける表現だと思います。

(会長)

他の意見はありませんか。

(異議なし)

計画の総合テーマは候補1「本と出会い 人と出会い 明るい明日が見えてくるまち 愛荘町」に決定します。

(事務局)

本日の協議会でいただいた意見を取りまとめた上、事務局から委員の皆様へ最終案を送付します。意見等があれば追記をお願いいたします。来月中には送付する予定をしており、これをもって最終案とさせていただき、パブリックコメントに移る予定です。

(委員)

社会教育委員会議で「まちじゅう読書の推進」に関するポスターを募集します。町と町教育委員会にも後援いただいています、図書館協議会にも後援いただけないのでしょうか。

(事務局)

まちじゅう読書を盛り上げるということでポスター募集をされます。読書に関することなので後援していただければと思います。協議会委員さんに審査委員をお願いするかもしれません。

	<p>(会長) 後援するということによろしいでしょうか。 (異議なし)</p> <p>(事務局) 後援の承認をいただき、ありがとうございます。詳細については、次回の社会教育委員会議で決定されるとのことです。</p> <p>(会長) 他に何かありましたらどうぞ。</p> <p>(教育長) 愛荘町教育委員会から明日付で、幼小中学校の保護者向けに減メディアや読書習慣に関する案内を出します。</p> <p>(事務局) 次回開催日ですが、11月15日水曜日でいかがでしょうか。 (異議なし) では、次回は秦荘図書館で19:30からの開催とします。</p> <p>(副会長閉会挨拶) (会長) 本日はありがとうございました。</p>
問い合わせ先	愛知川図書館 連絡先 0749-42-4114